常務理事	主	任	担	当	者

## 健 康 保 険 育児休業等終了時報酬月額変更届 厚 生 年 金 保 険 育児休業等終了時報酬月額変更届

	①事業所訂	<del>2号</del>	(2	②被保険者番	·号		給与締切日			給与支払日	当月 翌月						
	⑦年金	手帳の基礎を	年金番	号		<b>(3</b> )	被保険者の	の氏名	日	P	日	_	保険者	の生生	手月 日		⑦種別
 	1 1	1 1	     		(フリガ (氏)	`†)	    (名)   	ı			明 1 大 3 昭 5 平 7		年 I I		月 I I	 	1·2·3 5·6·7
	②養育す	る子の氏名		3	養育する	る子の生年	月日	(	か育児	休業等	<u>平 7</u> 等を終了した	<b>上</b> 年月日	3		争従育	前の標準執	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
(フリガウ (氏)	†)	(名)			年	月	I I		ĺ	年	月 <b>I</b>		目	健			千
(14)		I <sup>(和)</sup>		平成	! !	l I		平成			!		 	厚			千
	報	西州		月		額	++1	#* 7kk 🗆 :	6617 F		<u> </u>		9		備	考	
	算定対象月の報 酬支払基礎日数			<ul><li>現物による</li><li>ものの額</li></ul>	Ą	<b>か合計</b>		基礎日 の月の 総計			④改定年月				遡及支 昇(降) 昇(降)	給差の月額	
	月	1	円		Ч	円			円		年	月					円
	月 月 月	1	円		Э	円	<u>⊘</u> 3	平均額			<b>②</b> 修正平均智	頂					円
	月	1	円		Э	円			円			円			:	年	月
<b>※</b> 億 健	決定後 <i>0</i> 標準報酬		送信	開申	始してい 出される	いませんかる被保険者	·。 ·の方が記	入(🗷	) して	こくだ	前産後休業。 さい。 <b> 産前産後休養</b>					うしている うしました	

上記のとおり被保険者から申出がありましたので提出します。									
			平成	年	月	日提出			
		₹	_						
(事業主	事業所所在均	<u>h</u>							
美主 )	事業所名称	<b>.</b>							
	事業主氏名	,				(fi)			
	電話番号	<del>!</del> (	)	)	_				

健康保険法施行規則第38条の2及び厚生年金保険法施行規則第 10条の規定による申出をします。									
	兼	松連合健康	保険組合理事	長殿					
		平成	年	月	日提出				
(申出人)	〒 住所		_						
	氏名				(fl)				
	電話番号	<del>1</del> (	)	_	-				

## 【記入上の注意】

申出をする方は、太枠部分を記入し、事業主あて提出してください。

※育児休業等終了日の翌日に産前産後休業を開始している場合は、申出できません。

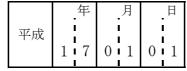
## 【記入の方法】

1. ③の年号は、該当する数字を○印で囲んでください。 生年月日は、たとえば昭和47年11月7日の場合は、

明 1	年	月	日
大 3 昭 ⑤	I I	I	I I
平 7	4   7	1   1	0 ! 7

のように記入してください。

- 2. ⑦の種別は、次の該当する数字を○印で囲んでください。
  - 1: 坑内員以外の男子 2:女子 3: 坑内員
  - 5:厚生年金基金の加入員であって、坑内員以外の男子
  - 6: 厚生年金基金の加入員である女子
  - 7:厚生年金基金の加入員である坑内員
- 3. ②は、養育する子の生年月日を記入してください。 たとえば平成17年1月1日生まれの場合は、



のように記入してください。

- 4. ⑦欄には、報酬のうち、臨時に受けたものおよび年3回以下で支払われるもの以外のもので、通貨で支払われた賃金、 給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が、労働の対償として受けた、すべてのもの の額を、それぞれ該当の欄に記入してください。
- 5. ②欄には、報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨以外のもので支払われたものについて、健康保険法第46条また は厚生年金保険法第25条の規定によって厚生労働大臣が定めた価額によって算定した額を、それぞれの該当の欄に 記入してください。
- 6. ②欄には、◎欄の額を報酬支払の基礎となった日数17日以上の月の数で除して得た額を、記入してください。
- 7. ②備考欄の「遡及支払額」には算定対象月内に支払われた通常給以外の報酬を、「昇(降)給差の月額」には昇(降)給により増(減)された額の月額を、「昇(降)給月」には昇(降)給または遡及分の支払が行われた月を、それぞれの該当の欄に記入してください。